

45年度に実施される新規統計調査事業について

4月に入り新年度をむかえ意欲を燃やして仕事に臨むときであるが、4月（APRIL）はラテン語のAPILIIという言葉に由来し、地の開く意味であるという。このように気候もゆるみ、挨拶も桜の話して始まり、海辺には汐干狩、野山は摘菜、空は春の陽光が一杯といつためぐまれた季節をむかえ、心を新たにしたところで昭和45年度の新規事業について概観してみよう。

新規事業については次のとおりであるが、それを分類すると3つに区分できる。すなわち、①は昭和45年国勢調査に関連しての事業（国勢調査費……予算額450千円）②は統計の解析に対する研究（商工統計解析研究費……予算額114千円）③は表彰に関する事業（各省大臣表彰伝達費……予算額135千円、全国統計大会費……予算額185千円）であるが、これらの主要な事業についてみよう。

1. 国勢調査

ご承知のとおり、国の行なう国勢調査は基本的な統計調査の1つで最もなじみの深い統計調査でありその調査結果は各方面で活用されているが、県としても昭和45年国勢調査茨城県実施本部を4月1日に設置しさらに広くその重要性和趣旨普及の徹底を図り、この調査に対する理解と協力を得ようというわけである。そのために多くの事業が計画されているが、そのなかで主なものを挙げてみると人口予想懸賞募集がある。昭和40年国勢調査においても募集を行なったことがあるが、その当時の応募件数は約3,400件の多きに達し、実施本部としても嬉しい悲鳴をあげた記憶がある。その時は高萩市安良川塩畑忠氏が見事金的を得とめ、予想人口2,056,142人は調査結果の2,056,137人にくらへ実に5人違いという正確な答を出している。

今回の募集も前回とほぼ同じ要領で行なわれるが、「昭和45年国勢調査（昭和45年10月1日午前零時現在）による茨城県の人口は何人？」という設問で、県内に居住する者なら誰れでも応募することができ、締切は昭和45年9月末日となつている。応募方法は官製はがきに算用数字を用い、特賞から1等～3等の入選が予定されている。なお特賞の賞金は2万円が見込まれている。

この人口予想懸賞募集のほかに、水戸駅頭にアーチ等を掲揚し、県内すみずみまで広報車を駆使して周知をはかることになつている。その他各種報導機関を利用して宣伝に努め、円滑な統計調査事務の遂行をみこんでいる。

2. 商工統計解析研究

もともと統計という概念のなかには大別すると2つの分野がある。1つは統計を作成するといった技能的な面がそれであり、2つは統計数字を読みとるといった思考活動の面である。われわれの周囲をみても従来は前者

の処理能力を有するものが優れた統計マンであるとされがちであつたが、これからの統計的 directions のなかでの思考活動は重要な地位を占めつつあるのである。統計業務に携わるわれわれにとつても統計で重要なのは統計数字を土台として、ものを考え判断しようとする心構えであり、そうした知識と能力の涵養であろう。こうした観点から、最近とみに利用度の高い商工関係資料の利用のしかた、あるいは数字の読み方等解析に必要とされる基礎的なものから、中央の講師を交えて勉強会を開催しようというものである。

3. 各省大臣表彰伝達

各種指定統計調査について、とくに優秀な団体、事業所等に対し、大臣表彰の授与があつた場合、従来は県統計大会、あるいは持参して伝達されていたが各省から表彰状送付後すみやかに表彰の伝達を行なうことによつて、統計調査の重要性の認識を高め、あわせて統計思想の向上を図ろうとするものである。

各省文部省、通産省、労働省の表彰は通常毎年3月31日付で決定をみるが、その数は約

| | | |
|-----|------------|---------|
| 文部省 | 学校基本調査 | 3団体 |
| | 学校保健統計調査 | 2校 |
| 通産省 | 工業統計調査 | } 25事業所 |
| | 商業統計調査 | |
| | 工業動態統計調査 | |
| | 商業動態統計調査 | |
| 労働省 | 機械振興流通統計調査 | } 10事業所 |
| | 毎月勤労統計調査 | |

に達しているが、それぞれの代表者を県に招いて表彰の伝達を行なうことになつたものである。

この他の各省の分については従来どおり県統計大会の席を借りて伝達を行なう方法もとられるが、県としては、団体および事業所の労をねぎらい、あわせて今後の協力と統計思想の向上が図れれば幸いである。

4. 全国統計大会

昭和44年全国統計大会に九州宮崎県において開催され本県から筑波郡および西茨城郡下全町村をはじめ、多数の参加者がありその席上、友部町総務課長大沼一郎氏の晴れの表彰に賛辞を送つたことは記憶に新しいことであるが、昭和45年度は東京において実施されることになり、多数の大会参加者を得て全国統計大会を有意義なものとしたいものである。

関東ブロック都県の幹事県として本県も、全国統計大会運営の一端になうことになり、大会準備打合せ等が開催され多忙な昭和45年度になりそうである。なお、全国統計大会は7月23日、東京都において行なわれることになつた。